

大阪の福祉を知る

みんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.164

2026年10月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

これからの“看取り”を考える ～本人・家族・支援者ができること～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



これからの“看取り”を考える

～本人・家族・支援者ができること～



日本では、総人口に対する高齢者の割合が増え続けています。人生の最終段階をどのように迎えるかは、本人や家族にとって大きなテーマであり、医療や福祉、介護の現場においても「看取り」は重要なテーマとなっています。

そこで、今回の特集は、看取りの現場に立ち会っている病院の医師と看護師、訪問介護サービス事業所の所長取材し、看取りに向き合う考え方や、現状の取組みなどについて伺いました。さらに、看取りの現場に向き合い、社会への発信などを続けている有識者に、今後取り組んでいくべき課題や将来への展望などについて解説いただきました。

高齢者の中には「住み慣れた場所で最期を迎えたい」と希望する人も多くいます(図①)。30年前を見ると自宅で約30.3%の人が亡くなっていましたが、2024年の数値では約16.4%に減っています(図②)。その背景としては、核家族化や少子化、地域住民同士のつながりの希薄化に加え、介護施設が充実してきたことなどがあると考えられます。“住み慣れた自宅”で最期を迎えるには、退院する際に医療機関などと連携して支援体制を整えることが重要です。また、日頃からの備えとして、いざという時に支援を受けられる人や機関などの相談先をあらかじめ知っておくことが大切です。

一方で、医療や介護の現場では、人生の最終段階にある人が“本人の希望に沿った最期”を迎えられるように、医

師・看護師・介護士・栄養士・心理カウンセラーなどの専門職が協働し、それぞれの視点で関わる多職種連携の取組みも進んでいます。

地域においては、多くの看取りを迎える時代を見据えて、日常の悩みや終活の相談ができたり、個人と介護や医療の専門職をつなぐネットワークの拠点をつくろうといった取組みも始まっています。

看取りについて考える時には、人生の最期の過ごし方だけでなく、これからどのように暮らし、生きていきたいのかを考える事が大切です。

取材では、多くの方から「一人ひとりが、どのような最期を迎えたいのかを生前に考えておくことが重要」という話を聞くことができました。現在の医療・介護や、地域における取組みについて理解

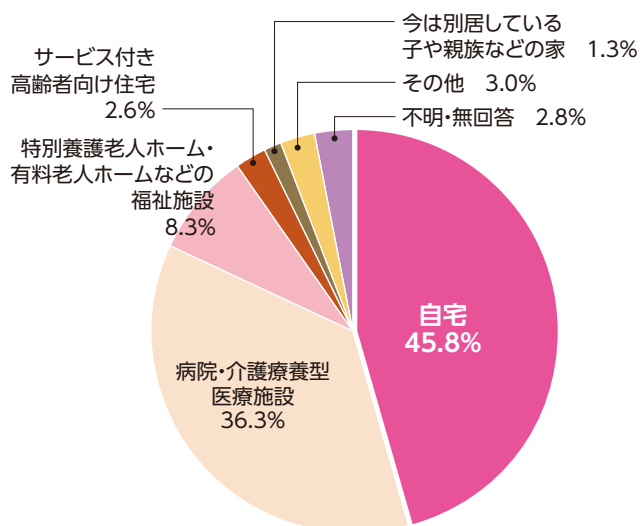
し備えておくことで、いざという時に焦らずに対応できたり、その状況を受け入れるための支えになったりします。

もう一つの視点として、家族も専門職も、看取りに至るまでを支え、看取りに立ち会うことで葛藤や重圧をそれぞれに抱えます。その後の生活や仕事を続けていくためのケアの仕組みも整えられつつあり、大切な人を亡くした後の心理的サポートを包括した「グリーフケア」の取組みが注目されています。

今回の特集では、“その人らしい最期”を迎えるために本人ができることや、寄り添う支援のあり方について、現場に深く携わる方々の声をお伝えします。

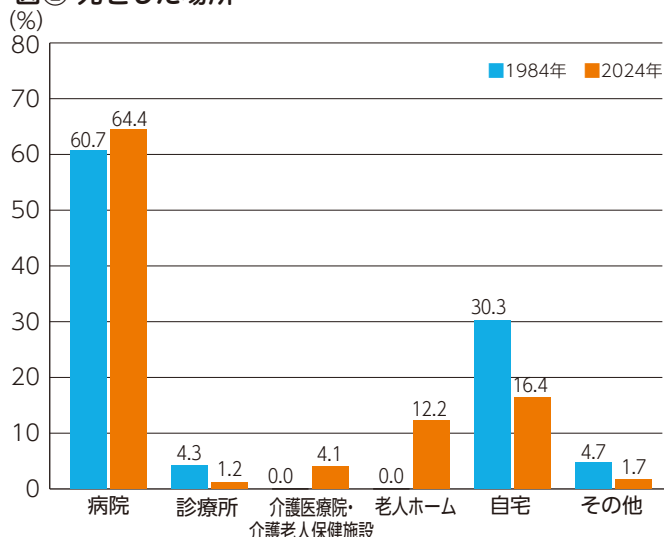
そして、「自分らしく日常を過ごし、その延長線上にあるのが“看取り”」という視点を持つことの大切さについて考えます。

図① 最期はどこで迎えたいか



※内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する調査」(2023年度)

図② 死亡した場所



※人口動態調査 人口動態統計(厚生労働省)

患者の希望をケアに活かして、 「自分らしく生きる時間を最後まで支える」



主任部長
池永 昌之さん
(左)

看護部課長代行
がん看護専門看護師
杉田 智子さん

淀川キリスト教病院は、第二次世界大戦後、大阪市内で医療体制がまだ十分整っていなかった地域に、病気で苦しむ人々への治療を目的として創立されました。“看取り”に関わりの深いホスピスを、1984年に日本で2番目に開設された病院でもあります。そこで、今回はホスピス・緩和ケア病棟に勤務されている、主任部長の池永さんと、看護部課長代行の杉田さんにお話を伺いました。

日々生活が続ける中で 訪れるのが“看取り”

——“看取り”については、どのように考え、対応されていますか。

杉田さん:この病棟では患者さんが日常生活を心地よく過ごせるように、支えることが大切です。毎朝、“今日一日をどう過ごしたいか”という希望を伺い、その日のプランと一緒に考えています。生活する先に訪れるのが看取りです。

池永さん:ホスピスの患者さんは、治療ができない現実を理解して日々過ごされています。ここでの医師の主な役割は、身体の苦痛をやわらげること。患者さんが“物を食べる、人に会う”といった自分らしい選択を妨げる痛みをやわらげ、不眠の改善に努めます。看取りの時が来るまで、生きている姿を支えています。

対話をしっかり行い 希望をケアにつなげる

——ホスピス・緩和ケア病棟に入院する患者に、2時間ほどの時間をかけて面談を行う理由を教えてください。

杉田さん:ご本人が大切にしていることや希望を伺います。例えば“家に帰りたい”という患者さんの希望の背景にある“家族と過ごしたい、ペットに会いたい”という理由までお聞きし、すべてを実現することは難しくても、病棟内でそれに近い代替的な対応を考えます。患者さんの希望に沿ったケアを行いたいからです。

池永さん:不安や孤独感を抱えておられるなど、応えることが難しい場面においては、“ともに考え、一緒にいる”ことが重要です。また、寄り添うことを希望しない患者さんには、“いつでも助けになれる”という姿勢で見守ります。患者さんごとの希望をくみ取りながら、距離感を意識し対応しています。

看取りに向き合うスタッフに 大切な視点とは

——日々現場で対応する中で、担当してきた患者の看取りが続いて、喪失感にかられる時、どのように対処されていますか。

杉田さん:小さなグループで思いを共有できる場をつくることは、スタッフが支え合うために重要だと感じており、心がけています。

池永さん:“ケアに後悔が残るのは、それだけその人を大切に思い、心を尽くしたから”という視点を持つことが大切です。スタッフとしては、ケアにゴールはないため、良かった部分をチームで共有し、悲しみを成長につなげることが仕事を続けていく上では不可欠です。

あの時の体験が、 今のチカラに

本人の意思を 尊重し、支える

池永さん

痛み止めに拒否される方がいて、その理由を伺うと「自分は特攻隊の生き残り。仲間たちが苦しんで亡くなっていったのに、私だけが苦しまずに最期を迎えることは耐えがたい」と話されました。医師の立場からすると、“痛む時には痛み止めを飲むのが最善”と考えがちですが、ご本人は“痛みを体感することに意味がある”と考えていたようです。最期まで痛み止めを使うことはありませんでした。本人の意思を尊重し人生をサポートする大切さを考えさせられました。

看取りのその先、 家族のケアも重要

杉田さん

ある患者さんのご主人が、ぽつりと「なんで早く見つけてやれなかったのかな」と言葉にされたことで、心を痛めているご主人のケアの必要性に気付きました。そこから、ご主人との会話が増え、お部屋の雰囲気も良くなり、患者さんも安心された様子で最期を迎えました。お見送りの後、3か月後に私からご家族に手紙を書き、息子さんの結婚式を見たかったと話されていたお母さまの病床での様子などを伝えたところ、「父としっかり生きていきます」と息子さんからお返事をいただきました。看取りの後も続く、ご家族へのケアの重要性を改めて実感しました。



▲明るさを意識して設計された居室

対話を重ね、その人に興味を持つことで、必要な支援の形が見えてくる

津野さんは、約17年前に株式会社ハート介護サービスに入社した2年後に、東住吉支店を立ち上げ、所長に就任。さらに生野支店、住吉支店の立ち上げにもかわり、訪問介護サービスの利用者がある現場を一軒一軒回り続けてこられました。人生の最終段階である“看取り”に向き合ってきた津野さんに、訪問介護現場における看取りの現状と課題などについて伺いました。

看取りに向き合う中で感じることに、津野さんは「人は生まれて、生きてきて、必ず亡くなります。だから私は、その人との“初めまして”の時から“看取り”は始まっていると思っています。訪問介護では、その人のいつもの生活を少しでも穏やかに過ごせるように支えています」「だからこそ普段から対話などを通して、その人のことを知ろうとすることが大切です。例えば“もう頑張りがたくない”と思っている人を、支援する側の考えで介入しすぎたり、良いと思う方向に誘導したりしてはいけません」と語ります。

穏やかに過ごすために 選択肢を持つておく

「日本財団の調査では約7割が自宅で最期を迎えたいと希望している一方で、現実的に在宅で亡くなっているのは1割未満です。訪問介護の現場でも“本人が希望すれば在宅看取りができる”というほど簡単ではないと実感しています。選択肢をしっかりと用意しておくことが重要です」「訪問介護は、“家で亡くなること”を目指すのではなく、その人が、その時々で“ここがいい”と思える場所で少しでも穏やかに過ごせるように支援することだと考えています」と津野さん。

つまり、“病院から家に帰りたい”と希望する人がいた場合、“医師や看護師、ヘルパーの調整がどこまで必要で、家族や周囲の支援があるか”といったことを考えながら、自宅で過ごす環境が本

当に整えられるのかを関係者とともに判断することが求められるといいます。さらに、津野さんは「帰宅ができたとしても、“いざという時には病院に戻る”という選択肢を持つことが重要」と強調しました。

家族の状況にも 思いを寄せる

訪問介護の現場では、サービス利用者の家族からのさまざまな相談も受けている津野さん。「私たち介護職は、訪問が終われば離れて帰る場所があります。それがあから、冷静に、優しく対応ができるわけです。一方で、ご家族は毎日のように接していて、家族にしかないしんどさがあります。“私はしんどい”と言っていい。家族を上手な介護者にするのではなく、最後まで家族でいられるように支えたい」と真剣な表情で語りました。

津野さんは、数多くの方々を支援する中で、人生を閉じようとする際に、自分が一番楽な選択をするとは限らないことを知ったといいます。例えば、訪問介護サービスの利用者で、“家族に迷惑をかけたくないから”という理由で、後に施設への入所を選んだ人がいたそうです。「入所後、“淋しい”と泣いて電話をかけてこられました」と津野さん。「でも、その方は最期まで施設で過ごされました。大切な人のために何かを我慢することも、その人らしい価値観のひとつ。そこを知ろうとすることが必要だと思います」。

関わるすべての人に できることがある

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会の認定ファシリテーター、いのちの授業Lv1認定講師としても活動されている津野さん。「施設・在宅を問わず、看取りに関する考え方や関わり方を介護・医療職に伝える講演活動などを行って



所長・介護福祉士・介護支援専門員
津野 采子さん

います。看取りが近づくと、不安や戸惑い、葛藤を感じることもあると思います。そんな気持ちを抱えながらも専門職としてできることを一緒に考えています」「学校や地域コミュニティで実施している『折れない心を育てるいのちの授業』では、いのちの現場からの学びを子どもにも大人にも届けています。自身の看取りに臨む際や、家族や支援してきた人の看取りに向き合う時に、心が穏やかでいられる考え方などを学びます。心穏やかに“看取り”に向き合えるようになれば、介護現場の状況も変わるかもしれません」と津野さんは期待を寄せました。



●折不れない心を育てるいのちの授業

2020年から大阪市内の小中学校でも出前授業を実施。5年間で96校、9,486名の児童、生徒、教職員が学び合いました。(2025年3月現在)



増加が見込まれる“看取り”への 環境整備と、個々の備えが重要

訪問看護ステーション さっとさんが願生寺

住職、チャプレン、大学教員、そして訪問看護ステーションの代表者といったさまざまな立場で、人生の節目に関わってきた大河内さん。日頃の活動で感じている、“看取り”を含めた介護現場の現状や、改善すべき点などについて伺いました。

日本は人口減少の局面に入りましたが、2030～2040年代にかけて団塊世代が看取りの段階に入り、死亡者数が多い時代を迎えます。介護施設や病院の緩和ケア病棟などに入れる人数には限界があります。在宅介護の分野でも、訪問医療や訪問看護の人材を十分に確保していくのは至難の業です。

この問題に、私たちはどのように向き合えば良いのでしょうか。大河内さんは「中学校区に一つ設置されている地域包括支援センターだけで多くの住民を支えるのには限界があります。専門職だけに頼らず、地域住民が互いを気にかけて、支え合える関係を構築しなければなりません。そして行政だけに依存しない民間ベースでの地域包括ケアのコミュニティを育てていく必要があります」と解説します。

地域包括ケアが民間にも 求められていく時代

大河内さんは、その地域住民が支え合える関係づくりの第一歩として、“地域包括ケアを寺院に取り込んでいく社会実験”を始めています。「住職・チャプ

レンとして、人生の最期だけでなく、人生の道のりにも果たすべき役割があると考えています。例えば、産前産後のお母さんを支える活動や、子どもや認知症の方への取り組み、フレイル予防などを実践しています」。

また、大切な人を亡くした悲しみを少人数で分かち合う“グリーフ(悲嘆)ケア”の場も月1回提供しています。大河内さんは、その意義についてこう語ります。「亡くなった人とは、生前の愛着関係によって、写真や遺骨、遺品、お墓参りなどを通じてつながりを感じ続けることがあります。人生の節目などを迎えた時に“生きていればこう助言してくれただろう”と思い起こすことで遺された人の人生に登場し続けます」「人によって看取りの満足度は異なりますが、特に本人とのお別れが十分にできなければ悲嘆は強くなり、特別なケアや治療が必要になることもあります。そのため、別れの機会を支えることは、最も重要なグリーフケアであると考えています」。

看取りの現場にある 日本における課題とは

支援者が看取りの場面に向き合う際に難しいのは、本人と家族の思いが一致しない場合です。「そういう時に、日本では家族の意向が優先されやすい」と指摘する大河内さん。アメリカでは、病状や余命は本人に告知され、“家族に知らせるかどうか”を本人が決めるのが一般的です。一方、日本では先に家族に説明し、本人にどこまで伝えるかを家族が判断する場面が多いです。告知によって本人が精神的なショックを受けることを家族が懸念するためです。だからといって本人に余命が伝えられなければ、残された時間や体力も分からないため、“気候が良くなってからどこかへ行きたい”と考えていても実



共同代表・チャプレン
願生寺 住職 大河内 大博さん

際には体力的に今しかできなかった場合、本人が判断・選択する機会を失うことになります。

このような問題について、大河内さんは「社会全体で自己決定や死生観について議論していくべきです」と話したうえで、「介護の現場では“本人の希望に添った看取り”が求められ、高齢者には“本人らしい終活を”といった言葉も見かけますが、本人に余命などの情報が教えられなければ実現できません。少しずつでも本人への情報提供を進める必要があると考えています」と強調しました。

地域住民と専門職を つなぐ新たな仕組みを

「どのように最期を迎えるのかを、あらかじめ考えている人は、いざという時にも過度に悩まず、落ち着いて行動ができています」と話す大河内さん。「多くの看取りを迎えるこれからの時代に対応していくためには、気軽に日常の悩みや終活の相談ができたり、個人と医療・介護などの専門職をつなぐネットワークの拠点になるような場所が地域ごとにいくつか必要だと考えています」「私たちも“地域包括ケアを担える寺院”として役割を担って行きたい」と言葉に力を込めました。



福祉・介護の現場で「アシスタントワーカー」活躍中!

アシスタントワーカーとは?

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。



アシスタントワーカーの受入れに向けた体制づくりが進められています!



いよいよアシスタントワーカーの受入れに向けて、具体的な準備が着々と進んでいます。マニュアルを作ったり、アシスタントワーカーにお願いしたい仕事を整理したり、これまでの業務を見直したり…。その過程で、各施設からは新しいアイデアや前向きな変化も生まれています。それぞれの施設がどのような工夫をしているのか、現在の取組みの一部をご紹介します。



社会福祉法人 枚方療育園 ビアンエトール恭愛 障害者支援施設 第一博愛

〒557-0063
大阪市西成区
南津守1-4-7
☎06-6656-7001



アシスタントワーカーをいつでも受け入れられる体制をめざして、職員向けの手順書に写真を加えるなど、誰が見ても分かりやすいマニュアルづくりを進めています。清掃やベッドメイク、配膳などの仕事を整理し、複数名の受入れも視野に入れています。施設のことを地域の方に知ってもらうため、ポスターや掲示板、口コミなど、さまざまな方法での募集も検討中です。

社会福祉法人 枚方療育園 ビアンエトール恭愛 特別養護老人ホーム 山愛

〒557-0063
大阪市西成区
南津守1-4-7
☎06-6656-7001



アシスタントワーカーが安心して仕事を始められるよう、分かりやすい手順書づくりを進めています。さらに、各フロアのパソコンを活用して、仕事の手順を動画で確認できる仕組みも検討中です。また、今回の取組みをきっかけに、長年続いてきた食事箋の運用にも改善の動きが。業務にかかる時間を「見える化」し、職員の負担軽減や新たな改善につなげていくことをめざしています。

株式会社ニッケ・ケアサービス

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
ニッケととて本町

〒540-0038
大阪市中央区
内淡路町3-1-18
☎06-6809-7925



モデルケースを設定し、これまで職員によって異なっていた支援の方法を見直し、「こうすればみんなできやすい」という形をつくらうとしています。記録も記述式からチェック形式に変更し、日々の業務を少しずつシンプルに。利用者様の重度化が進む中、アシスタントワーカーには清掃などを担ってもらい、職員が利用者様との関わりに、より多くの時間を使えるようにしたいと考えています。

介護のしごとを知る! 出会う! 相談できる!

「介護の魅力まるごと発見フェア」開催のお知らせ

介護の仕事の魅力にふれる一日を過ごしてみませんか?

仕事のこと、職場のことなど気になることを直接聞けるチャンスです。

日程/10月20日(火)

場所/サンライズビル大阪 3階 ホールA (大阪市中心区備後町2-6-8)

●映画上映会&セミナー

11:00~13:00 **【要予約】**
「父と僕の終わらない歌」

●オープンセミナー【講演・事例発表】

13:00~14:40 **【要予約】**
介護の魅力伝え隊 presents
「人生のランウェイ」

●事業所説明会&相談会

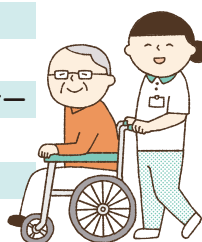
14:45~16:00

●介護のしごと相談コーナー

14:45~16:00

●介護機器紹介コーナー

14:45~16:00



お申込み・問合せ先

大阪労働局職業安定部
職業安定課職業紹介第1係
☎06-4790-6300

大阪市立総合医療センター 市民医学講座

受講無料
申込不要

肺がん治療の最前線

講座
内容

「肺がんの診断について」
「肺がんの手術治療について」
「肺がんの薬物療法について」

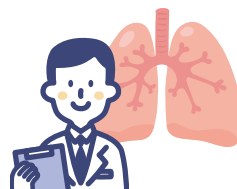
呼吸器内科 部長 まもと たかし 眞本 卓司
呼吸器外科 部長 つきおか たくま 月岡 卓馬
腫瘍内科 医長 たなか あやこ 田中 彩子

日時▶10月24日(土)13:00~15:00(開場12:30)

場所▶大阪市立総合医療センター さくらホール

対象▶どなたでも 定員▶250名(先着順)

市民の皆さまに向けた講座です。お気軽にご参加ください!



HPIは
こちら▶



問い合わせ先

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター ☎06-6929-1221(代表)

大阪市立十三市民病院 市民公開講座

我慢しないで相談を!

「脱腸」・
「いぼ痔」の
正しい知識

日時▶10月31日(土)10:30~11:30

講師▶外科部長兼消化器外科部長 かいざき りょうじ 貝崎 亮二

場所▶大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム

その他▶マスク着用 申込不要



参加費
無料

問い合わせ先

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室 ☎06-6150-8000(代表)



成年後見制度・市民後見人活動啓発講演会

参加無料

人の情けと後見活動 笑って学ぶ成年後見制度!

判断能力が十分でない高齢者・障がい者の権利や財産、
生活を守る「成年後見制度」と、身近な地域で本人に寄り
添う「市民後見人」の活動や役割について講演します。

日時▶11月14日(土)13:30~16:00
(開場13:00)

場所▶J:COM中央区民センター ホール
(大阪市中央区久太郎町1-2-27)

対象▶どなたでも
定員▶250名

内容▼

【第1部】人の情けと後見活動

～師匠の成年後見活動をとおして～
落語家 林家 染二氏

【第2部】トークライブ 活動報告

～ご縁からはじまる市民後見人活動～
登壇者 大阪弁護士会 こさかりみな 小坂 梨緑菜氏
大阪市市民後見人 瀬川 一美氏
落語家 林家 染二氏

申込みフォーム▼

問い合わせ先

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 大阪市社会福祉研修・情報センター3階

大阪市成年後見支援センター ☎06-4392-8282 FAX06-4392-8900



講座案内

福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
障がいのある人の自己決定とその支援	11月9日(月) 13:30～16:00	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 與那嶺 司	障がいのある人の『自己決定(あるいは、意思決定)』がどのようなものなのか、また、その『自己決定』にどのような個人・環境要因が影響を与えるのか等について学び、それを踏まえて、障がいのある人の意思やニーズに基づいた適切な支援を考えます。	定員:36人 受講料:1,500円 締切:10月15日(木)
相談面接の技術	11月12日(木)、 19日(木)、 26日(木) いずれも 10:00～16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員 ※大阪府主任介護支援専門員更新研修の受講要件に該当する資質向上研修(法定外研修)については大阪府下の事業所も対象とする。	京都女子大学 教授 橋本 有理子	【基礎編】 11月12日(木) 相談援助職として面接時に必要な基本的視点や技術、倫理を学びます。 【応用編】 11月19日(木) 基礎編をもとに、相談援助職として効果的な面接を展開する上で必要な視点や技術を学びます。 【実践編】 11月26日(木) 基礎編・応用編をふまえ、実践を通して、相談援助職に必要な視点や技術を磨きます。	定員:各編54人 受講料:各編3,000円 締切:10月14日(水)
リスクマネジメントの基本理解と福祉職員としての心構え	11月11日(水) 10:00～16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	兵庫県 対人援助研究所 主宰 稲松 真人	現場で利用者と接する機会の多い対人援助職として勤務する職員に求められるリスクマネジメントについて、基本的な考え方と具体的な取り組みについて学びます。	定員:36人 受講料:3,000円 締切:10月19日(月)
訪問介護サービス提供責任者研修	11月17日(火)、 12月18日(金)、 令和9年 1月19日(火) いずれも 10:00～16:30	大阪市内の福祉事業所の訪問介護サービス提供責任者など	公益社団法人 大阪介護福祉士会	訪問介護サービス提供責任者として求められる基礎的な知識や役割を再確認するとともに、多様化・複雑化する介護ニーズに対応するために必要な視点や対応策を実践的に学びます。	定員:20人 受講料:9,000円 締切:10月22日(木)
スーパービジョン研修～幅広い視点をもって職員の成長を支える～	11月18日(水)、 12月2日(水)、 16日(水) いずれも 13:30～17:00	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務するリーダー・主任・管理職員(候補者・予定者の受講可)	大阪総合保育大学 短期大学部 現代生活学科 教授 前田 崇博	スーパービジョンの基本を学び、コーチング、教育・メンター機能、各世代とのコミュニケーション、リスクマネジメント、ハラスメント・虐待防止、ガバナンス等、実践に必要な能力や視点を講義・演習を通して学びます。	定員:48人 受講料:4,500円 締切:10月25日(日)
「できる」を「つくる」ケアマネジャーの力～通所リハビリテーションから考える自立支援型ケアマネジメント～	12月15日(火) 13:30～16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務するケアマネジャー ※大阪府主任介護支援専門員更新研修の受講要件に該当する資質向上研修(法定外研修)については大阪府下の事業所も対象とする。	介護老人保健施設 さくらがわ ケアプランセンター 在宅部門統括主任管理者・主任介護支援専門員 林 正章	主に通所リハビリテーションについて取り上げ、要支援の方などが「自立」を意識しながら安心してサービスを活用できるよう、重度化防止につながる自立支援型ケアマネジメントについて学びます。	定員:54人 受講料:1,500円 締切:11月11日(水)
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	12月18日(金) 令和9年 1月18日(月)、 25日(月) いずれも 10:00～17:00	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する、入職後おおむね3～5年程度の職員で3日間出席が可能な方	四天王寺大学 准教授 吉田 祐一郎 関西学院短期大学 准教授 立花 直樹	中堅職員としてのキャリアアップの道筋(キャリアパス)を描きながら、求められる考え方とスキル、職員間の信頼関係とチームワークを高めるキーパーソンとしての役割等を学びます。	定員:45人 受講料:9,000円 +テキスト代1,000円 締切:10月26日(月)

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

申込み・
問合せ先

研修の申込み方法▶当センターのホームページからお申込みください

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp





図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

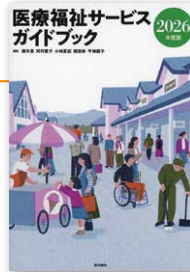


図書紹介

医療福祉サービスガイドブック (2026年度版)

鈴木 豊 ほか 著 医学書院
2026年

医療・保健・福祉分野における社会サービスについてまとめたガイドブック。社会保障制度、医療、高齢者、障害者・障害児、子ども・家庭、生活費と仕事といった各分野の社会サービスの概要と利用のポイントなどを解説。



はじめて学ぶ子ども家庭福祉 ～子どもと家族に寄り添うソーシャルワーク～

遠藤 和佳子 著 ミネルヴァ書房
2026年

ここ数年めまぐるしく変化してきたわが国の子ども家庭福祉の制度・施策を整理した上で、子どもが抱える生活困難を総合的に捉える視点の重要性、「子どもの最善の利益」のための適切な支援方法などをわかりやすく解説する。これからの子ども家庭福祉のあり方や、子どもと家族の未来像を展望した一冊。



発達障害の私だからこそ、成功できた

似鳥 昭雄 著 祥伝社 2026年

74歳で「発達障害」の診断を受けたニトリHD会長。「できないことの多い自分でもよかった」そう語れるまでの試行錯誤が1冊に。発達障害の特性によるマイナス面ばかりが強調されて、社会や組織の中で生きづらさを感じやすい当事者にとって、似鳥氏の大きな成功とあっけらかんと朗らかな姿は、大きな希望であり、自信につながるもの。

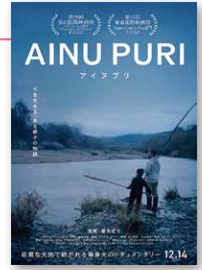


DVD紹介

アイヌプリ

BBB 81分 2024年

北海道・白糠町で暮らす天内重樹さんと家族に密着したドキュメンタリー。伝統的な鮭漁や信仰、文化を日常の中で実践しながら、先祖から受け継いだアイヌの生き方を息子へ伝えていく。北海道の大地とともに、ルーツを大切に今を生きている人々の姿を映し出す。アイヌ式に生きる、家族の記録。



認知症の人の症状とケア・支援制度・組織 (第1巻) 認知症の人との共生社会の構築

丸善出版株式会社 30分 2025年

認知症に多く見られる症状とそのケアについて、認知症専門医、認知症看護認定看護師が解説。また認知症の人と家族の、健康と生活を支えるために欠かせない支援制度・組織についても説明。その代表的なものとして、介護保険制度、地域包括支援センター等を取り上げる。



恋するピアニスト フジコ・ヘミング

TOEI COMPANY,LTD 119分
2025年

90歳を超えてもなお、世界中で精力的に演奏を続け、公演はどこもソールドアウト。2024年もたくさんの公演を控えていた中、フジコは4月に92歳で世を去った。2018年に異例のロングランヒットを記録した映画「フジコ・ヘミングの時間」から6年。



募集!!

あなたの周りに眠っている古本はありませんか？

12月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています！

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切／12月4日(金)
- 受付場所／大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所／2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料でお持ち帰りいただけます！

- 開催期間／12月5日(土)
10:30～15:30(予定)

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください！



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・雑誌などを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間／月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00
金曜日 9:30～19:00
休室日／日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始
問合せ先／☎06-4392-8233



新着情報はこちら▲



すこやか大阪 21



健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人がなる病気、早期発見・早期治療のため、定期的にがん検診を受けましょう。

■大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診	胃部エックス線検査	取扱医療機関	500円	当該年度末現在50歳以上の大阪市民(年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	当該年度末現在50歳以上で前年度に受診されていない大阪市民(2年度に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査2日法	各区保健福祉センター	300円	当該年度末現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
	取扱医療機関	取扱医療機関		
肺がん検診	胸部エックス線検査	各区保健福祉センター	無料 (喀痰細胞診検査400円)	当該年度末現在30歳代の女性市民(年度中1回)
	(ハイリスク者には喀痰細胞診検査も併せて実施)	取扱医療機関		
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	当該年度末現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 ※視触診あり	1,000円	当該年度末現在30歳代の女性市民(年度中1回)
	マンモグラフィ	各区保健福祉センター ※視触診なし	1,500円	当該年度末現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
		取扱医療機関 ※視触診の有無は医療機関により異なる		
前立腺がん検診	血液検査	取扱医療機関	1,000円	当該年度末現在50・55・60・65・70歳の男性市民(年度中1回)

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康推進部健康づくり課(がん検診専用電話) ☎06-6208-8250

■がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査(大阪府が実施するものに限らない)を受けたことがない方。また大阪府肝炎フォローアップ事業に同意する方。
骨粗しょう症検診	定量的超音波測定法(QUS法)	各区保健福祉センター	無料	当該年度末現在18歳以上の大阪市民※1
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	無料	当該年度末現在20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※1

※1 いずれの検診も、当該年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に自治体、加入保険や勤務先等で同等の検診を受診済みの方(自費や診療によるものは含まない。ただし、受診頻度が2年度に1回の検診は前年度受診済みも含む)は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

〈お問い合わせ〉大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診) ☎06-6208-9943

(歯周病検診) ☎06-6208-9963

■大阪市国民健康保険被保険者の方に生活習慣病の健診を実施しています。

特定健診	実施場所	料 金	対象者
	保健福祉センター等 取扱医療機関	無料 (要受診券)	40歳以上74歳までの大阪府国民健康保険被保険者の方(来年度の3月31日までに40歳になる方を含みます)

〈お問い合わせ〉大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具

介護リフト用下肢吊り輪

主な適応疾患・対象者 ▶ 寝たきりで、おむつ交換等に体位を保持する必要がある人

〈機能・特徴〉

- リフトのフックに引っ掛けて、下肢を持ち上げる
- 膝裏にあたる部分が柔らかく、肌触りが優しい
- 紐を解けば、広げて洗濯することができる

〈使い方〉

- リフトのフックにベルトをかけて、輪の中に足を入れ、クッションを膝裏に当て、両足が開く状態で持ち上げる



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎FAX06-4981-8492(月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活

応援グッズ

車いす

軽さとスリムさを
両立したモデル



◆ふわりすg

超軽量で取り回しやすく、狭い場所での移動や持ち運びもスムーズ。ノーパンクタイヤや清潔に保ちやすいカバーシートも備え、毎日の使いやすさにこだわった一台です。

自然といい姿勢で
座りやすい車いす



◆ネクストコアIIアジャスト

軽量・スリム・コンパクトなボディに、快適な座り心地と高い剛性感を実現。身体をしっかり支え、良い姿勢で安定して座れます。操作性にも優れ、利用者・介助者双方の快適な移動をサポート。

外出したくなる
素敵なデザイン



◆ウィーリー

優れた走行安定性で、長距離の移動も快適にサポートする車いす。こだわりのデザインと使いやすさで、毎日の移動をもっと楽しく。「出かけてみよう」と思える、外出が楽しみになる一台です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会

介護情報・研修センター福祉用具展示場

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

大阪府社会福祉会館1階

☎・FAX06-6763-1480

HP <https://kansil.jp>

今年も開催します!

「へえ!」がいっぱい★ふくしでわくわく♥みんなが主役

ウェルおおさかはーとフェア2026

入場
無料

日時 **12月5日(土)** 10:30~15:30



映画上映会 **事前申込**

「体操しようよ」

38年間勤め上げた60歳のシングルファーザーが、娘の「親離れ」をきっかけに地域デビュー。人との出会いを通して新たな世界を知り、第二の人生を楽しんでいく感動作です。

©2018「体操しようよ」製作委員会



濱田祐太郎さん講演会 **事前申込**

「見えない世界を覗き見」

視覚障がいを持ちながらお笑い芸人として活躍し、2018年に「R-1ぐらんぷり」で優勝。テレビや講演を通じて「見えない世界」をユーモアたっぷりに発信しています。笑いを交えながら、多様性やユニバーサル社会の魅力をわかりやすくお届けします。



楽しいイベントが盛りだくさん

- ♥ 見て・触れて・相談できる!福祉体験コーナー
- ♥ 介護技術講座~持ち上げない介護技術を学ぼう~ **事前申込**
- ♥ 高齢者の食事講座~栄養・噛む・飲み込むを考える~ **事前申込**
- ♥ 自助具製作体験講座 **事前申込**
- ♥ ミニ講演会「働きながら介護を続けるには」(申込不要)
- ♥ ゆーとあい・にしなりWing子どもの体験コーナー(工作・ゲーム・アート)
- ♥ リサイクルブックフェア
- ♥ 絵本読み聞かせ
- ♥ ミニステージ(踊りや演奏など楽しいパフォーマンス)
- ♥ クレープ・弁当・パン・手作り小物などの販売
- ♥ スタンプラリー(先着300名様に景品プレゼント!)

大人も子どもも
楽しめる!



《申込方法》

電話・ホームページにて受付 11月8日(日)

《申込締切》

《会場・申込・問合せ先》

大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272

ホームページ



どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



内製している
チラシの評判が
よくない...

何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画

and more...



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION

AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 info@ad-emon.com

http://www.ad-emon.com



(広告)

災害に備え、誰かの力になれる自分へ

防災介助士 資格取得講座

災害時に自分と大切な人を守るための知識と技術を学び、高齢者や障がい者など、配慮が必要な方を支援する力を身につけます。



学ぶ内容

- 災害の理解と防災知識
- 防災・減災のための備え
- 救急・介助技術
- 災害時の支援・リーダーシップ

取得までの流れ

自宅学習・課題提出 → 実技教習・筆記試験 → 資格取得(認定証発行)

12カ月以内に取得
(平均2~3カ月で取得できます)

実技教習日程・会場

2026年

11月10日(火)・12月17日(木)

9:30~17:00(1時間休憩)

大阪会場

※詳細な会場はお申し込み後にご案内します。

受講料

29,700円(税込)

受講料に含まれるもの
・自宅学習テキスト・課題
・実技教習
・筆記試験・認定料

お申し込み
はこちら



お問合せ
はこちら



公益財団法人
日本ケアフィット共育機構
大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋 6F
☎06-6251-6101
☎06-6251-6102

詳しくはWEBサイトをご覧ください 日本ケアフィット共育機構

(広告)

CENTER INFORMATION 大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日)※毎週金曜日19:00まで

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の 問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の 問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の 問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00



貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

[ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。
電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。
FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。

会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。

ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

時間区分			午前 9:30～12:30	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	全日 9:30～21:00
室区分	利用人員のめやす					
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
5階	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通

ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ

52系統(なんば～あべの橋)

「中開三丁目」バス停徒歩5分

80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大國町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024

大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX 06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

〔テーマ〕高齢者をめぐる人権

しわの手に 刻まれし日々 宝もの

なかうら こころ あ 中浦 心愛さん(令和7年度「人権に関する作品募集事業」)キャッチコピー 高校生の部 佳作)